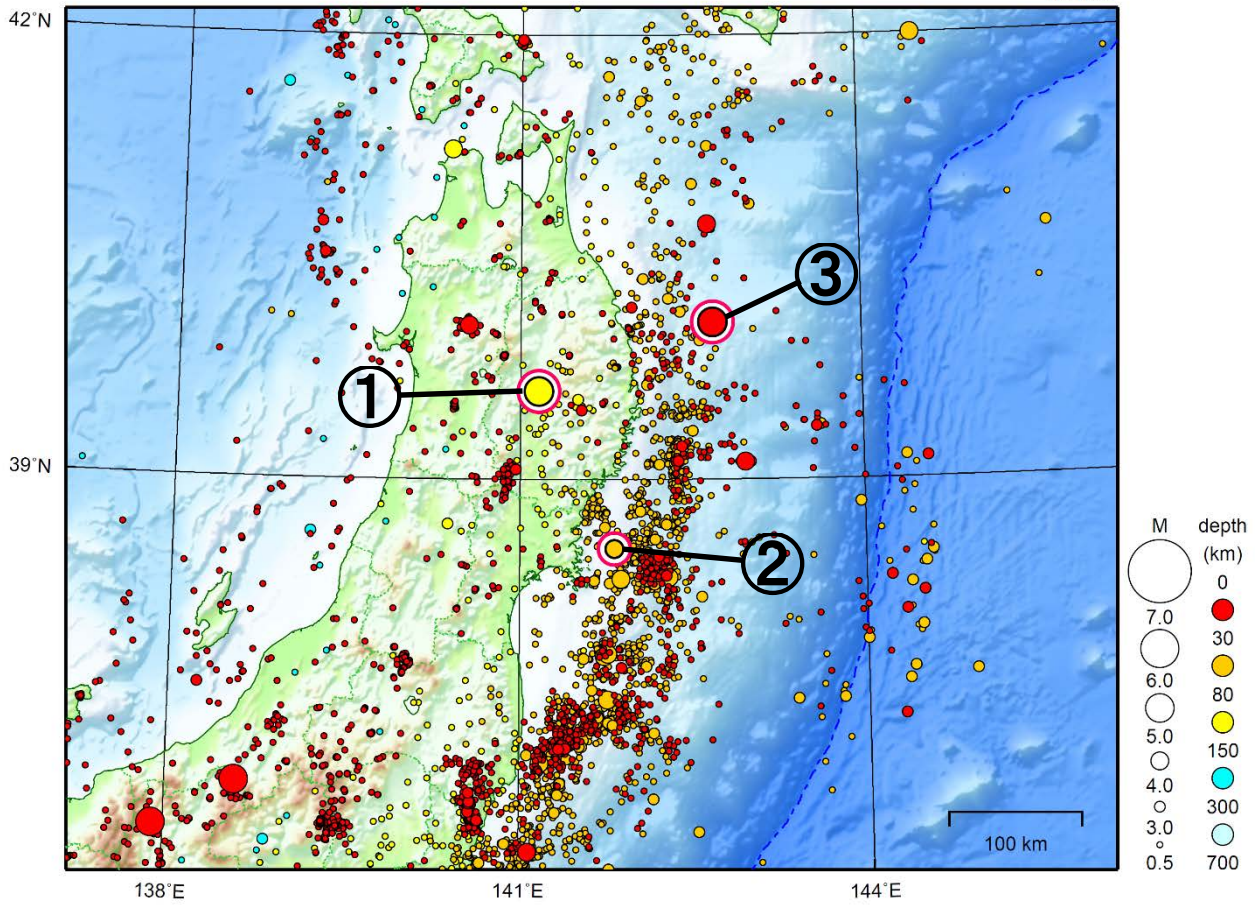


東北地方

2018/05/01 00:00 ~ 2018/05/31 24:00

N=4868



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

- ① 5月7日に岩手県内陸北部でM5.1の地震（最大震度4）が発生した。
- ② 5月13日に宮城県沖でM4.8の地震（最大震度4）が発生した。
- ③ 5月14日に岩手県沖でM5.1の地震（最大震度3）が発生した。

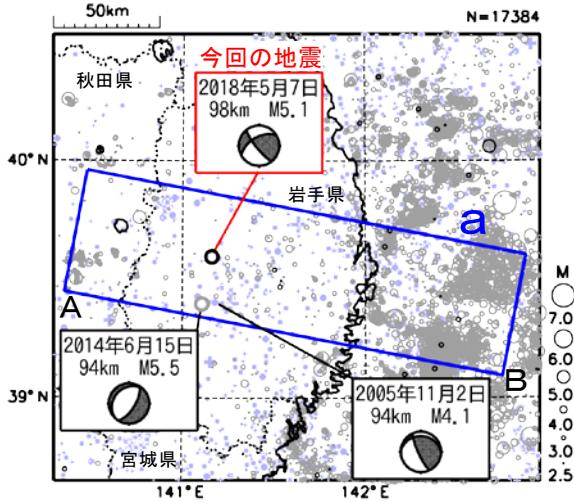
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

5月7日 岩手県内陸北部の地震

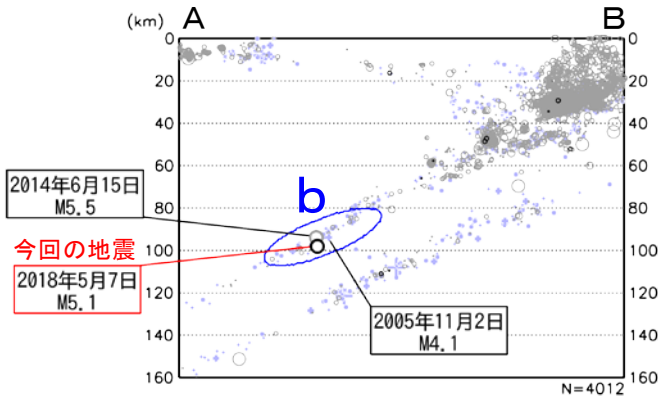
震央分布図

(1997年10月1日～2018年5月31日、
深さ0～160km、 $M \geq 2.5$)

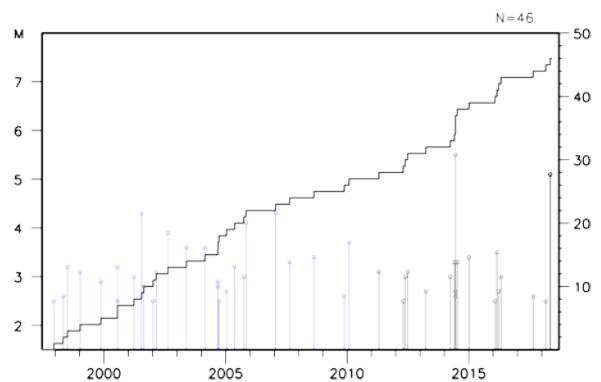
2011年3月10日以前に発生した地震を+、
2011年3月11日以降に発生した地震を薄い○、
2018年5月の地震を濃い○で表示



領域a内の断面図 (A-B投影)

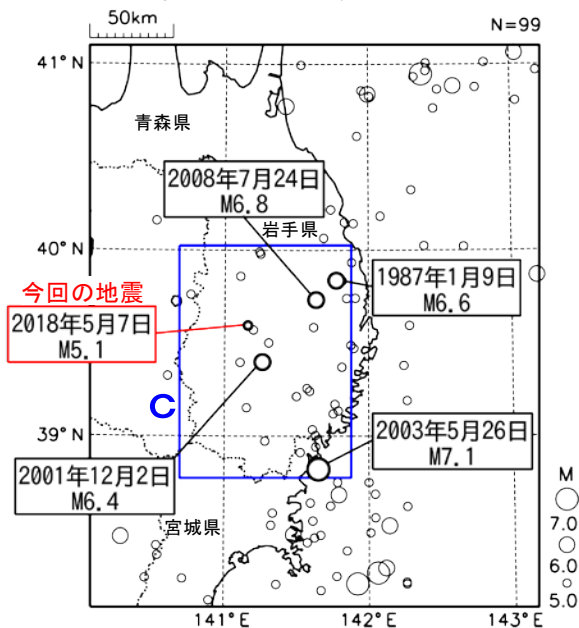


領域b内のM-T図及び回数積算図

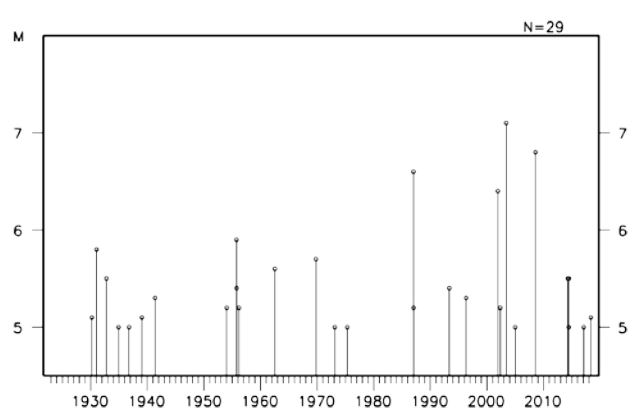


震央分布図

(1923年1月1日～2018年5月31日、
深さ60～160km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図



2018年5月7日05時00分に岩手県内陸北部の深さ98kmでM5.1の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、2014年6月15日にM5.5の地震 (最大震度4) が発生している。

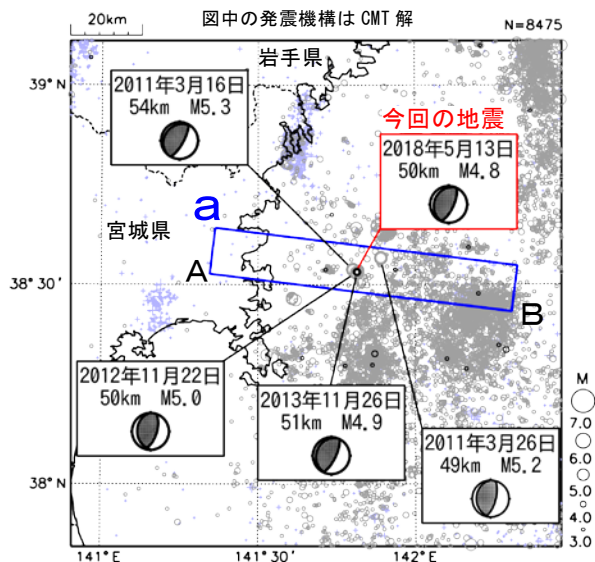
1923年以降の活動をみると、今回の震央付近 (領域c) では、M6.0以上の地震が時々発生している。このうち2008年7月24日に発生したM6.8の地震 (最大震度6弱) では、死者1人、負傷者211人などの被害が生じた (総務省消防庁による)。

5月13日 宮城県沖の地震

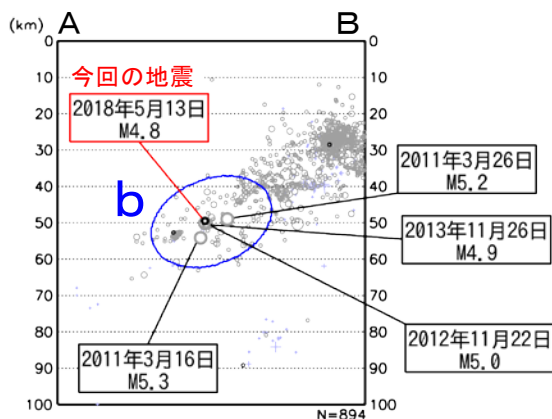
震央分布図

(1997年10月1日～2018年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を+、
2011年3月11日以降に発生した地震を薄い○、
2018年5月に発生した地震を濃い○で表示



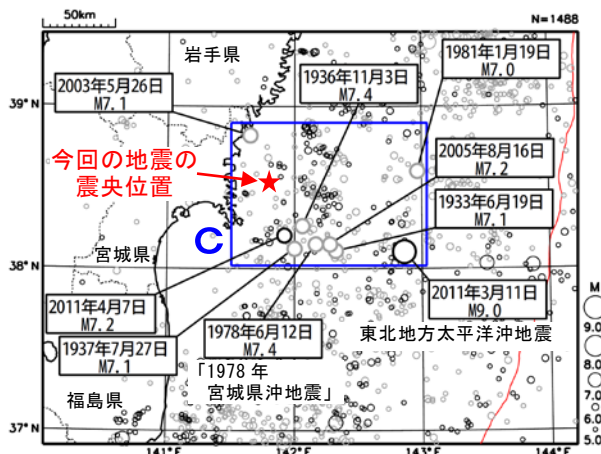
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を薄い○、
2011年3月11日以降に発生した地震を濃い○で表示

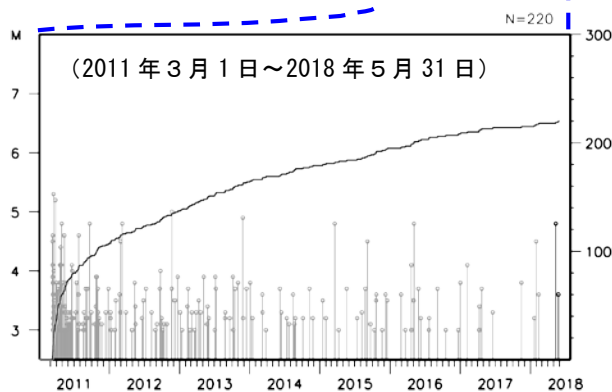
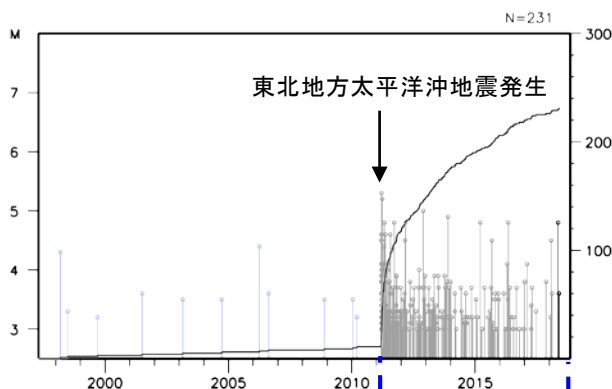


2018年5月13日 01時49分に宮城県沖の深さ50kmでM4.8の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

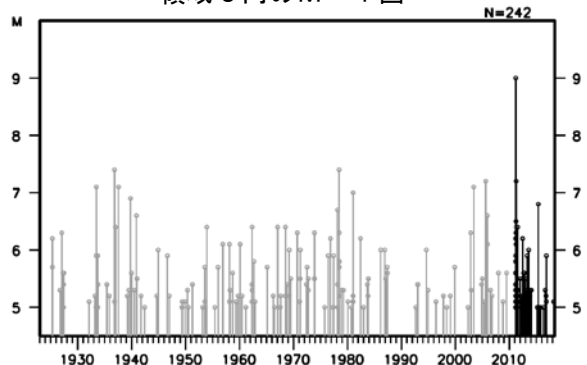
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震が数回発生していたが、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(以下、東北地方太平洋沖地震)」の発生以降に活発化し、M5程度の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が9回発生しており、「1978年宮城県沖地震」(M7.4、最大震度5)では、死者28人、負傷者1325人、住家全壊1183棟等の被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



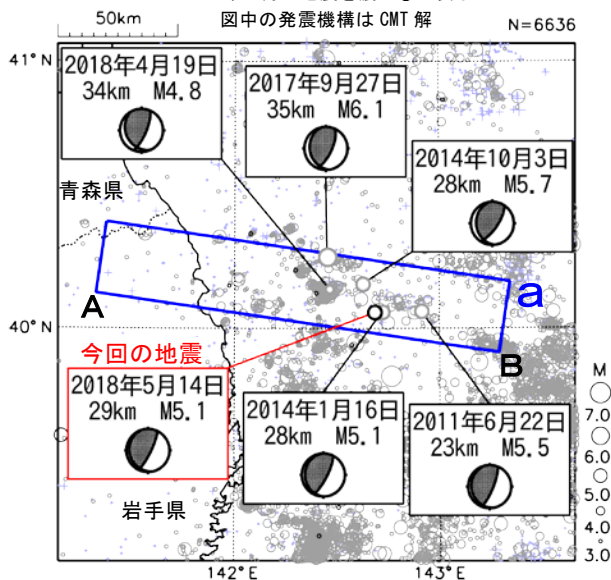
領域 c 内の M-T 図



5月14日 岩手県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2018年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を+、
2011年3月11日以降に発生した地震を薄い○、
2018年5月の地震を濃い○で表示
図中の発震機構はCMT解

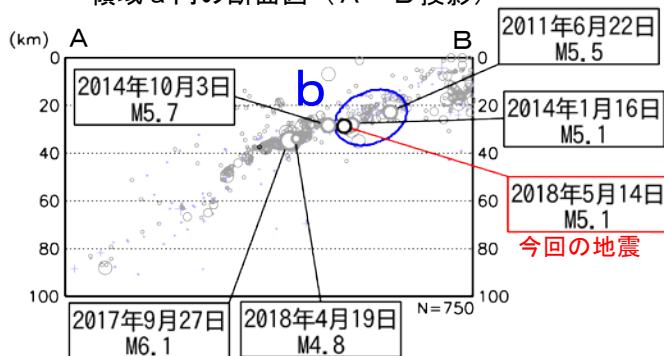


2018年5月14日19時31分に岩手県沖の深さ29kmでM5.1の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

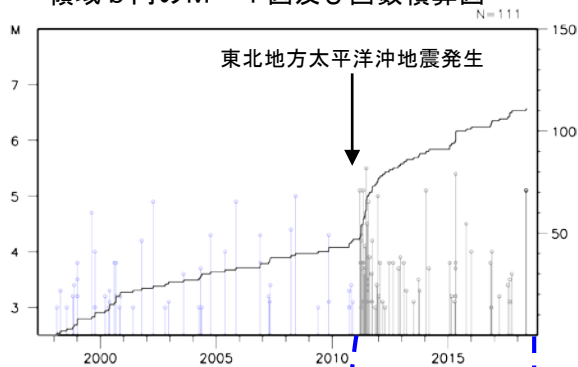
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5を超える地震が時々発生しており、東北地方太平洋沖地震発生以降は地震活動が活発化した。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1994年12月28日に「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」(M7.6、最大震度6)が発生し、青森県八戸市と岩手県宮古市で50cmの津波が観測された(「験震時報第64巻」による)。この地震により、死者3人、負傷者788人、住家被害9,522棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

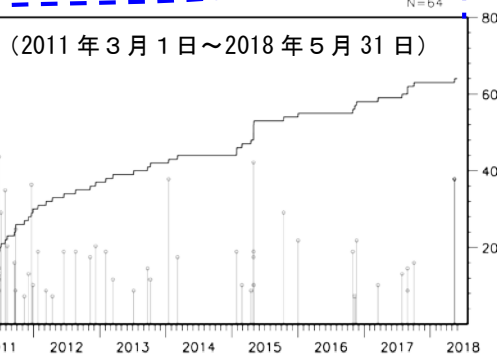
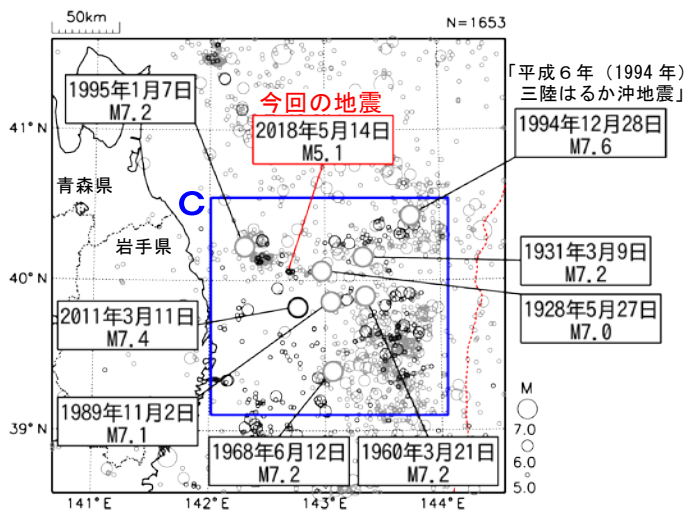
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1923年1月1日～2018年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2011年3月11日以降に発生した地震を濃く表示



領域c内のM-T図

